

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぽかぽか広場太田第2 (児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	2026年2月16日		～	2026年3月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		～	2026年3月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月12日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の活動プログラム、月のイベントが色々と用意されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様が楽しめることはもちろんのこと、保護者様も興味を持つことができるイベントを企画、提供している</li> <li>・イベントを提供するにあたり、職員も一緒に楽しめるように外出や製作、クッキングなどを季節に合わせてたり、作ることができたら楽しいだろうなと言うものを提供している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、イベントがマンネリ化しない様に創意工夫を凝らし様々な活動を提供していく</li> <li>・施設への外出が多く入れられない為、利用者様や保護者様も興味を引くような活動を提供していく</li> <li>・保護者様を招いてのイベントが少ない為、状況を見ながら企画、提供していく</li> </ul>
2	イベント費用など施設提供なので保護者様負担が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様が家庭状況等によって活動に出来ないことが起こらないよう施設で費用を負担している。</li> <li>・買い物トレーニング(おやつを自分で買う)等を定期的に行なっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設(遊園地など)のお出かけは比較的少ない為、提供ができるような体制を作っていく</li> </ul>
3	様々な職員、お友達と関わりを持つことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曜日によって職員やお友達が変わり、様々な人との関わりを持つことができるようにレクリエーションの中でも個人で集中して取り組むもの、集団で活動を行なうものなどを組み合わせて提供している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに人との関わりを広げることができるように、地域の児童などを招くイベントを計画していく。</li> <li>・関係が特定のお友達、職員だけに偏ることがないようにレクリエーション、イベントなどで集団活動を徐々に増やしていく</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間での情報共有、周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の人数が多い、異動等の入れ替わりにより共有が出来ていないことがある</li> <li>・情報共有システムが整備されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ツールを用いた情報共有や、場合によっては必要事項をまとめた用紙を作成し速やかに共有が行なえるようにしていく</li> <li>・共有や周知をする中で情報が変化なく伝わるように特定の職員だけが共有を行なうようにする</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の人数も多いが児童数も多く個別的な対応をする時間がなかなか取れない</li> <li>・1便に乗る児童が多くて4名以上になるので車内に乗っている時間が長くなってしまふ時がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員数は多いが、送迎等に出してしまうと基準を満たした最低限の人数になってしまう</li> <li>・他害等のある児童にマンツーマンで職員が付くことで集団を見る職員が1名不足する(人員基準は満たしている)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準人員プラス1名以上配置ができるよう職員採用を行なっていく</li> <li>・他事業(同グループ)と協力し、同じ学校の児童と一緒に引き取ってもらうなど室内の職員数を増やす</li> </ul>
3	事業所内の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内の部屋数が多くはない為、状況によっては部屋数が足りなくなってしまう</li> <li>・室内は見通しが良く、状況も把握しやすい反面、音が伝わりやすく利用者様によっては落ち着かない環境になっているかもしれない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋の中でも区切られた空間を作成し、利用者様が落ち着くことができる環境を作る</li> <li>・音が少しでも遮断できる個室を作り(上部の開いているスペースを塞ぐなど)落ち着ける環境を作る</li> </ul>

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ぼかぼか広場太田第2		2026年3月30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6 100%		活動スペースを仕切りで別け集中しやすい環境設定にしている	個別活動できる静かな部屋があると特性に合わせて支援ができる
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置数は適切であるか。	6 100%		外出イベントの際は出勤職員を多くしている	事業所の特性(人数や利用者様の特性)に合った人数がプラスだと活動の幅が広がる
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6 100%		写真等で視覚的に分かりやすくしている 事業所全体に段差などないのでバリアフリー化されている	壁が少し薄く、少し強くぶつかると穴が開いてしまう 全ての部屋の上部が空いているので、午睡など必要な方が落ち着いて寝ることができない
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6 100%		毎日室内掃除、玩具の消毒を行なっている	2事業所の利用者様が通われているのでもう少し身体を動かして遊べるスペースがあると良い
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4 67%	2 33%	相談室で過ごせるように過ごせるようにしている	相談室を使用していると使える部屋がない
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6 100%		月に数回出勤職員で集まり会議を行なっている。また毎日朝礼、終礼の際に振り返りを行なっている	もう少し時間をかけて話し合いをする機会を増やす必要がある
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6 100%		改善が必要なことは話し合い、改善を行なっている	もう少し意見を聞ける場があると良い
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6 100%		毎週1on1面談を行ない、より良い支援に繋がることは取り入れ改善を行なっている	管理者に話ずらいことを言える人を配置し、現場の声をもう少し挙げられると良い
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6 100%		保護者様からの意見を取り入れ業務改善に繋げている	もう少し意見を聞ける場があると良い
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6 100%		外部研修、ジョブメドレーで毎月研修を行なっている	希望者だけでなく、新卒の方、障がい分野が初めての方に、専門知識を付ける研修が定期的に必要な
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6 100%		職員がいつでも閲覧できるようファイリングしてある	一覧にまとめると一目で分かりやすい
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6 100%		利用者様、保護者様の意見を取り入れ計画書を作成している	気持ちを伝えられない利用者様の気持ちを反映できない
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4 67%	2 33%	職員に課題等を聞いたうえで最も利用者様に合うように計画している	専門の先生以外に意見が増えると良い
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6 100%		職員ミーティング等で共有を行なっている	いつでも確認できるようまとめておく
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5 83.3%	1 16.7%		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6 100%		5領域を基に具体的にどのような支援を行なうか記入している	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5 83.3%	1 16.7%	チームでどのようなプログラムがいいか話し合いを行なっている	活動の狙いを全員がまとめられると良い支援になる

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6 100%		同じ活動にならないようマネージャーを含めて確認をしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6 100%		利用者様に合わせて、無理のないよう個別、集団活動を分けている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5 83.3%	1 16.7%	一度管理者が活動を確認し、その後全体に共有を行なっている	利用者様の特性や、段階を把握する必要がある役割分担に関して動く職員と動かない職員が明白化している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6 100%		振り返りを共有し次の支援に繋げるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6 100%		連絡帳や、個人ファイルに様子をまとめて改善に繋げている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6 100%		相談員さん、保護者様と定期的に行なっている	セルフプランの方とのモニタリングが少ない
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6 100%		子供の状況を把握した管理者、児発管が参加をしている
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6 100%		連携を行ない、療育を必要とされている方がいらしたらご紹介をして頂いている	
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5 83.3%	1 16.7%	必要に応じて情報共有を行なっている	
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5 83.3%	1 16.7%		現状出来ていない
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2 33.3%	4 66.7%		
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3 50%	3 50%		
33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6 100%		送迎時やLINE、電話等で共有し家庭連携を行なっている	
34		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2 33.3%	4 66.7%	ペアトレは出来ていませんが専門的なアドバイスは行なっている	研修の機会があると良い
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6 100%		契約時に丁寧に説明を行なっている		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6 100%		希望があれば面談、電話等で行なっている		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6 100%		新規、更新のタイミングで必ず説明しサインを頂いている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6 100%		面談、送迎時、LINE、電話等で助言をおこなっている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2 33.3%	4 66.7%		現状できていない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6 100%		事業所で解決できない内容については、マネージャー等に相談し迅速に対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6 100%		毎月通信やブログを更新し情報発信をしている	紙媒体ではなくデータになることで携帯でいつでも確認がしやすくなる
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6 100%		個人情報が含まれる物に関しては基本持ち出し禁止（担当者会議等は別）。	飲食店などで個人が特定される話をしない
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6 100%		1人1人に合わせた配慮をできる限り行なっている	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2 33.3%	4 66.7%	招待は出来ていないが、地域のイベントには参加をし交流を行なっている	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6 100%		定期的に訓練を行なっている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6 100%		職員全員で訓練を行なっている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6 100%		一覧表を貼り出し共有をしている	起きてしまったときに慌てず対応できるようにする
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6 100%		一覧表を貼り出し共有をしている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6 100%		研修、訓練を行なっている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5 83.3%	1 16.7%	緊急時の対応を伝えている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6 100%		ヒヤリハットを共有し、次に起こらないよう検討をしている	小さなことでも気づきヒヤリハットが書けるようになると事故のリスクが減る
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6 100%		研修等を行ない意識付けをしている。また気になる対応については管理者から指導を行なっている	個人で話をするときは、カメラが映る範囲か役職者が同席する	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6 100%		拘束を必要とされる方については保護者様に説明し、記載をしている 事業所内で研修を行っている		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぽかぽか広場太田第2

公表日 2026年3月30日

利用児童数 26名

回収数 15名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11 73.3%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	・外遊びが好きな子には少し物足りない。人数がMAXの時は狭いかもしれない。 ・活動中の様子を見たことがない為、分からない ・スペースに対して受け入れ人数が多く感じる	お子さまが安心して過ごせる環境を大切にしながら、活動内容やスペースの使い方を工夫し、安全に配慮した支援を行ってまいります
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8 53.3%	2 13.3%	1 6.7%	4 26.7%	・見たことないから分からない ・職員の人数は多いが利用者の数が多いので少なく感じる ・好きだった先生が急に異動になってしまった時は寂しそうだった ・活動中の様子を見たことがない為、分からない ・職員は多いが、子どもが多すぎるので1日の受け入れ人数を減らして欲しい	お子さま一人ひとりに目が行き届くよう、職員配置や役割分担を見直しながら、より丁寧な支援ができる体制づくりに努めてまいります
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12 80%			3 20%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11 73.3%	1 6.7%		3 20%		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10 66.6%	3 20%	1 6.7%	1 6.7%	・他の子から加害行為を受けている為、適切な支援をしていただきたい	お子さま同士の関わりの中で安心して過ごせるよう、職員が状況をしっかり見守りながら、それぞれの特性に応じた関わり方や支援を行ってまいります
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14 93.3%			1 6.7%		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14 93.3%	1 6.7%				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13 86.6%	1 6.7%		1 6.7%	・保護者会がないのは有難いです。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13 86.6%	1 6.7%	1 6.7%			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13 86.6%	1 6.7%	1 6.7%			
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	9 60%	2 13.3%	2 13.3%	2 13.3%		
その他	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15 100%					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13 86.6%		2 13.4%			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8 53.4%	2 13.3%	2 13.3%	3 20%		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11 73.4%	2 13.3%	2 13.3%		・子どもの口からではなく、加害行為があった事を職員さんから伺いたかった	お子さまの良い様子だけでなく、気になる出来事や課題についても適切にお伝えできるよう、職員間で共有方法を見直し、より丁寧な情報提供に努めてまいります
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10 66.6%	1 6.7%	3 20%	1 6.7%		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12 80%	1 6.7%		2 13.3%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6 40%	2 13.3%	3 20%	4 26.7%	・保護者同士の交流は分からないが、家族への支援は○です。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11 73.3%	3 20%		1 6.7%		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11 73.4%	2 13.3%	2 13.3%		・園から受けた連絡が保護者迄流れて来なかった。あとで園の先生から「ぼかぼかの人に伝えました」と言われた。 ・1日何があったかちゃんとフィードバックして頂きたい	今後は職員間での情報共有や確認体制を見直し、連絡漏れがないよう努めてまいります
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13 86.7%	2 13.3%				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13 86.6%	1 6.7%		1 6.7%		
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9 60%	2 13.3%		4 26.7%	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9 60%	3 20%		3 20%		
25		事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8 53.3%	4 26.7%		3 20%		
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11 73.3%	4 26.7%				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13 86.6%	1 6.7%	1 6.7%		・好きな先生の話をしてくれるので安心して思う。幼稚園に行くより楽しいと事です。 ・年上のお友達から他害行為を受けてから行き渋るようになった	お子さまが不安な思いをされていることを重く受け止めております。安心して過ごせるよう職員の見守りを強化し、それぞれのお子さまの特性に応じた関わり方や環境づくりを行いながら、安全面に十分配慮してまいります
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14 93.3%		1 6.7%		・とても楽しみにしている。スケジュールを伝えるとニコニコする。人とコミュニケーションできる言葉が自然と出るようになったのはとても素敵な事だと思い、とても嬉しい。 ・年上のお友達から他害行為を受けてから行き渋るようになった	お子さまが不安な思いをされていることを重く受け止めております。安心して過ごせるよう職員の見守りを強化し、それぞれのお子さまの特性に応じた関わり方や環境づくりを行いながら、安全面に十分配慮してまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	12 80%	1 6.7%	2 13.3%		・もう少し特性に配慮した支援をしてほしい ・言語聴覚士さんがいるとより有難い	お子さま一人ひとりの特性をより丁寧に理解し、個々に応じた関わりや支援が行えるよう、職員間での情報共有や支援方法の見直しを行いながら取り組んでまいります